

S A T S U M A

さつ  
ま  
町



町勢要覧 2018



さつま町イメージキャラクター  
さつまるちゃん





奥薩摩が生み出す  
豊かな自然。

ここは竹の里。  
しっかりと根をひろげ、  
そこから芽吹いた筍は、  
まっすぐに伸びる。  
この町の主役は人。  
わたしたちもまた、  
手を取りあって、  
まっすぐに伸びていく。

INDEX

- |                |            |                |
|----------------|------------|----------------|
| 01 目次          | 23 商業      | 35 子育て支援・高齢者福祉 |
| 04 町長挨拶・さつま町概要 | 24 工業      | 37 地域づくり       |
| 05 「自然」        | 25 農業      | 39 定住促進        |
| 09 「温泉」        | 27 食       | 41 公共施設        |
| 13 「歴史」        | 29 体験      | 43 議会          |
| 17 「竹」         | 31 祭り・イベント | 44 資料編         |
| 21 さつま町 MAP    | 33 教育      | 49 町民憲章        |



五ツ太鼓



郷土芸能



薩摩切子





ひと・まち・自然



みんなで紡ぐさつま町



## ごあいさつ

さつま町長  
日高 政勝



「さつま町」が誕生し、現在、3期目の町長として、「夢と希望の持てる元気なまちづくり」を推進しています。

少子高齢化に伴う過疎化、雇用環境や地方経済を取り巻く情勢が日々変化する中、第2次総合振興計画の中で目指す本町の将来像、「ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町」の実現のためには、創造性を発揮しながら「ひと」、「まち」、「自然」の魅力を掛け合わせ、町民、地域、各種団体、事業者、行政など多様な主体が共に連携し合うことが重要であり、まちづくりに「オールさつま」で取り組むことで新たな道が拓けるものと考えます。

また、安心安全なまちの構築に努めるとともに、子どもの笑顔が輝くまち、すべての町民が希望に満ちていきいきと暮らすことができ、「さつま町に住んでよかった」と思うことができるまちを目指してまいります。

この要覧を通して、豊かな自然環境や農畜産物に恵まれ、永い歴史に培われた風土や文化の薫るさつま町を深くご理解いただき、本町の更なる発展に、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ACCESS

### 車

- 鹿児島市 約70分
- 薩摩川内市 約30分
- 出水市 約35分
- 伊佐市 約40分

### 飛行機

- 東京 約95分
- 名古屋 約75分
- 大阪 約65分
- 福岡 約40分

### 新幹線

- 東京駅 約6時間49分
- 新大阪駅 約4時間13分
- 博多駅 約1時間40分



## まちの概要

さつま町は鹿児島県北西部に位置し、北部には紫尾山(標高1,067m)があり、総面積は303.90km<sup>2</sup>です。

町のほぼ中心を南九州一の大河である川内川が貫流しており、5月から6月にかけて数多くのホテルを目にすることができます。

また、温泉や緑豊かな竹林など自然あふれる町です。東に鹿児島空港や九州縦貫自動車道横川IC、西に九州新幹線の川内駅、出水駅等があり、交通アクセスに恵まれた位置にあります。

基幹産業は農林業で、特に「薩摩中央家畜市場」の子牛取引価格は全国トップクラスです。